

【月案】12月・5歳児

今月の保育のポイント

- 12月からはイベントごとで忙しい時期であるので、3月までの仕事の見通しを立てておく。
- ルールがあってみんなで身体を動かすドッジボールなどの遊びを提案していき、白線を引いたり、ボードでルールが分かりにくい子ども向けに説明する環境を整えておく。
- 仲間意識が育ち、友達の意見を尊重する気持ちが生まれる時期。保育士はそっと見守るとき、介入するときをよく考えて援助する。喧嘩のときは一旦お互いの話を聞き、静かな場所で子ども同士二人きりにして、遠くからこっそり見守るなどの子ども同士の世界を大切にする柔軟な対応が必要。

月のねらい

- 友達みんなで協力し、共通の目的に向かって取り組む楽しさを知り、やり遂げる充実感を味わう
- 冬の自然や年末の様子・生活の変化に関心を持つ
- 遊びや生活の中で相手の気持ちを受け入れながら、自己を発揮する
- 遊びや生活の中でのルールの必要性に気づき、守ろうとする。
- 時計に興味を持ち、時間を意識するようになる。
- 友達と励まし合いながら、苦手なことにも挑戦しようとする。

週のねらい

その1

- 1週目：ドッジボールを毎日の帰りの会前に行い、大勢の友達と遊ぶ楽しさを知る（教育）
- 2週目：遊び、活動の中で友達と意見交換をしながら人と関わる楽しさや実感を得る（教育）
- 3週目：クリスマス会に向け、毎日の練習の中で本番風にするなど、気持ちを盛り上げていく（教育）
- 4週目：年末に向け、日本の慣習について楽しく学び、健康に過ごす（教育）

その2

- 1週目：一人ひとりの気持ちや思いを理解して、自己を発揮して活動に取り組めるようにする（養護）
- 2週目：冬至の意味を知り、日が短くなったことや、ユズ湯やカボチャを食べる習慣について知る（教育）
- 3週目：病気の予防や健康に興味をもてるよう、見やすい位置に掲示物やポスターをはる（養護）
- 4週目：年末年始の行事の意味を知り、関心をもったり楽しみにする（教育）

その3

- 1週目：季節の変化を感じ、寒さを楽しみながら戸外活動を楽しむ。（教育）
- 2週目：さまざまな運動遊びに取り組み、運動能力の向上に努める。（養護）
- 3週目：冬に自然に触れたり調べたりすることを友達と楽しむ。（教育）
- 4週目：1日の中で静の活動と動の活動をバランスよく取り入れ、メリハリを持って過ごせるようにする。（養護）

その4

- 1週目：手洗いうがい、鼻かみの様子を確認し、正しい方法が身につくよう促す。（養護）
- 2週目：怪我の予防について共に考え、子どもたち自身でも意識できるようにする。（養護）
- 3週目：異年齢との交流を楽しむ。（教育）
- 4週目：できるようになったことを発表する機会を設け、自信や次のステップへの意欲へと繋げる。（養護）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 毎日の園生活を見通しもって取り組んでおり、他人を気遣うなど行動に余裕がある。
- トラブルや困ったことがあっても、友達を心配し、自分達で解決しようとする姿が見られる。
- 「今日は寒いねもう冬だね」「クリスマス楽しみだな」など、季節の移り変わりを感じている様子がある。
- 戸外活動後や食事前などに手洗いうがいをする習慣はついていますが、適当に済ませてしまう姿も見受けられている。
- 友達との絆が深まり、固定の仲間内で過ごす様子が全体的に多く見られるようになってきた。
- 箸を使いこなし、食事を食べ進められる子が増えてきた。

教育（遊び）

- 戸外でドッジボールや鬼ごっこなど、友達と元気に遊ぶ姿が見られる。
- 仲の良い友達と楽しそうに相談しながら、色々な素材を探し遊びに使っている。
- 地域の様子や、木の葉が落ち始める季節の変化に気づき、冬を実感して会話を共に楽しんでいる。
- ドッジボールなどでは友達とルールを伝え合って、全員で楽しむ様子が見られる。
- 仲間意識が育ってきており、友達がいるからこそ楽しい実感を得ている子どももあり、友達の思いも汲み取る様子も見られる中、まだ自分の思いと折り合いをつけられない子どももいる。
- 発表会本番では堂々と舞台に立ち、練習の成果を立派に発揮することができていた。
- 発表会の延長で、自分たちでシナリオを考えて劇遊びをしたり、気の合う仲間とダンスを楽しんだりする姿も見られている。
- ごっこ遊びでは、自分たちでアイデアを出し合いながら必要なものを用意したり、設定を作ったりしながら、より具体的に楽しむ姿が見られている。
- 「寒いね」などと子ども同士で話をしながら、戸外での活動に参加している。寒さを嫌がり、あまり気が乗らない子もいる。
- お絵描きや工作をしたり、友達とゲームをしたり、机に向かって何かに取り組む時間も増えてきている。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活**：健康な生活に理解をもち、手洗いうがいなど進んで行う。（健康）
- **環**：「手洗いは自分自身の健康を守るために行う」のような意味を話し、子どもが生活を自分自身で納得して行えるように言葉かけをする。

- **活：**温度や状況に合わせ、衣服の調節を行う。（健康）
環：衣服の調節、手洗いやうがいなどの大切さを再確認できるよう、健康についての話を見聞きする機会を持つ。
- **活：**毎日の生活を、子ども自体が見通しをもちながら行う。（人間関係・健康）
環：生活を子ども達で気付き合ってできるように、適切な言葉かけを行う。
- **活：**1日の流れを見通しながら、次の活動、やることを自分で考えながら行動する。（健康・人間関係）
環：1日の流れをスケジュール化して置いておき、子どもが見て理解し、考えられるようにする。
- **活：**進んで掃除をしてみようとし、自分の持ち物や使った場所を綺麗にして心地よさを味わう。（健康・人間関係）
環：12月の大掃除は新年を新しい気持ちで迎えるための習慣であることを伝え、何処を掃除するか分担して行えるようにし、ワックスがけなどを子ども達と協力して行い、光る床を見る等、綺麗になった気持ち良さを味わえるようにする。
- **活：**共同で使う物の片づけを積極的に行う。（健康・環境）
環：自分の使ったものの片付けだけではなく、共有場所のゴミや落ちているおもちゃ等を拾うことで、みんなの為に役立つことが自分の為にもなることを伝えていく。
- **活：**正しい手洗いやうがいの方法が身に付き、すすんで実践する。（健康）
環：全体で改めて確認する時間を設け、正しい方法を周知する。また、水道付近に掲示し、いつでも見られるようにしておく。
- **活：**休息の大切さを知り、必要な時は体を休めることができる。（健康）
環：クッションやマット、ぬいぐるみなど、リラックスできる空間を保育室の中に用意しておく。
- **活：**椅子の座る際の正しい姿勢について知り、遊びや食事など生活の中で意識していく。
環：机や椅子の高さが合っているか、ぐらつき等がないかもよく確認をしておく。
- **活：**時計の読み方を学び、意識して生活をする。
環：活動の前後に時計を見る習慣をつけ、就学に向けて時間を意識し、長さの感覚を養えるようにする。
- **活：**自分の得意不得意を把握し、周りに励ましてもらうことでどちらもやってみようとする。
環：できることもできないことも受け止め、挑戦しようとする姿を認めることで自信へと繋げていく。
- **活：**年末年始について知り、新年を迎えることへの期待を膨らませる。
環：絵本や紙芝居などを利用し、わかりやすく伝えていく。できれば実際に体験する機会も作る。

教育（遊び）

- **活：**寒さに負けず、戸外で思い切り身体を動かして遊ぶ。（健康）
環：クリスマス会の準備などで忙しい時期であるが、戸外で十分に遊べる時間を確保する。保育士も子どもの戸外遊びに参加し、思い切って身体を動かす楽しさを共有する。
- **活：**遊びに必要な物や自分達でイメージした物を、様々な素材や道具を使って工夫して作る。（表現）
環：子ども達の遊びの様子や要望から、いろいろな素材を用意しておく。（綿、フェルト、色紙、モールなど）遊びを色々な方向に発展できるよう、保育者もアイディアをもって一緒に遊んでいく。
- **活：**自分の思いを言葉で伝えながらも相手の考えや思いを受け入れ、折り合いをつける。（言葉・人間関係）
環：子どもたちでルールの確認や遊び場の使い方などを相談して遊びを進めていけるよう、考え

を出し合い話し合う時間と場所を十分に用意する。子ども一人ひとりの表現意欲を大切にし、思いを理解し、共感し、励ます。

- **活：**冬の自然や社会現象に興味関心をもち、身近な自然の変化に気づきながら生活をする。（環境）
環：生き物の冬ごもり、園庭の木々の変化など、子ども達の発見や不思議に思ったことに共感し、また、そのことを図鑑などで調べ、興味関心を深める。
- **活：**友達と声を合わせて歌ったり、楽器を分担して音を合わせる楽しさを味わう。（表現）
環：クリスマス会で使えるような、季節に合った曲や話題の曲を数曲用意しておく。子ども達とクリスマス会の内容を話し合い、子ども達で役割などを決め、主体的に期待を持って準備できるように援助する。
- **活：**生活の遊びの中で文字や数字に興味を持ち、カルタ作りや年賀状作りなどの遊びに取り入れる。（環境）
環：遊びの中で子どもが文字数字の獲得に意欲が出るよう、カルタ作りや年賀状作りなどの遊びを意識的に取り入れる。
- **活：**年末の伝統的な行事を体験し、地域の様子の変化に関心や親しみをもつ。（環境）
環：コマやかるたなどの日本の伝承遊びを用意し、冬休みの家庭でも楽しめるように一緒に遊んでいく。
- **活：**集団で目的に向かって工夫し、協力しながら一つの遊びを進めていく。（人間関係・表現）
環：子どもが友達と協力して取り組み、頑張り工夫している所を認め、充足感満ちて取り組めるようにする。クラスのみんなで楽しめるよう保育者も仲間に入り、困っている子や子ども同士のぶつかり合いに寄り添いながら進めていく。
- **活：**息を吐くと白い息が出る、寒い日の風は冷たいなど、冬を現象から感じる。（環境・表現）
環：朝露や霜などの発見や、些細な風の冷たさへの話など、冬を感じる言葉に共感する。またそれらを「冬を描く」などの絵画活動や他の活動につなげていく。
- **活：**自分なりの目標をもち、めあてを持って遊ぶ。（健康）
環：縄跳び、フラフープ、ホッピング、竹馬等、挑戦できる遊びを置いておく。自分の記録カード等作り、自分の成長が可視化できるように環境を整えておく。
- **活：**郵便ごっこをして文字や数字に興味をもつ。（言葉）
環：子どもとポストやスタンプを作り、一部の子が楽しんでいた文字の遊びを全体に広げていく。
- **活：**冬の自然に興味を持ち、図鑑などで調べたり情報を共有したりすることを楽しむ。（環境）
環：冬の自然に関する図鑑や資料を用意し、散歩先にも持参するなどしてすぐに調べることができる環境を整えておく。
- **活：**集団での遊びの中で、ルールがあることで成り立つ楽しさに気がつく。（環境、人間関係）
環：その都度活動の約束事やルールを明確に示し、「もしこうだったら…」など具体的な例をあげながら、なぜそのルールがあるのかということについて考えられるように話しをする。
- **活：**ぬりえや微細遊びなど、ある程度の時間集中して取り組む。（表現、健康）
環：個人の空間を大切にし、より集中して取り組める環境を整える。無理のない範囲で、子どもが満足できるだけの時間を確保しておく。
- **活：**保育者の指示に耳を傾けて理解し、自ら行動に移したり、友達に伝えたりする。（人間関係、言葉）
環：子どもに伝わりやすい環境、タイミング、声のトーンや話し方を意識する。難しい子に対しては個人で対応をしていく。
- **活：**クリスマス会では、全体をリードしながら友達や保育者と一緒に楽しむ。（環境、人間関係）
環：クリスマスの装飾を一緒に飾ったり、製作をしたり、保育者や友達と話したりする中で、当日への期待を高めておく。
- **活：**ひとつひとつの遊びに時間をかけて取り組み、何日かに渡って友達と楽しむ。（表現、人間関係）

環：途中段階のものが壊れてしまわないよう、スペースを確保するなど保障をしてあげることで安心して取り組めるようにする。また、週末には片づけるなどのルールをみんなで話し合って決めておく。

- **活：**季節の音楽に親しみをもち、体や楽器を使ってみんなで表現することを楽しむ。（表現、人間関係）

環：朝の会や帰りの会、行事での発表などに季節ならではの歌を取り入れ、親しみが持てる機会を作っていく。

- **活：**学校ごっこを取り入れ、小学校について考えたり調べたりすることで興味を持つ。（環境）

環：散歩時に近隣の小学校まで行ってみたり、兄弟がいる子の話を聞いてみたりしながら、「学校」というところがどんなところなのかを知れるようにする。その際、マイナスなイメージがつかないように、十分留意する。

- **活：**当番活動の仕事を覚え、すすんでこなしたり、年下の子に教えたりする。（環境、人間関係）

環：いくつかの当番を用意し、順番に経験できるようにしていく。当番の種類や仕事内容について子どもたちと一緒に決めることで、必要性や責任感を感じられるようにする。

- **活：**1年間を振り返り、時の流れを感じる。できるようになったことを発表し、成長を分かち合う。（健康、人間関係、表現）

環：どの月や季節にどんなことをしたのか、丁寧に振り返っていくことで月日の流れを感じ、未来への期待感を持つ。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 感染症の流行季節に入るので、子ども一人ひとりの健康状態を把握する。
- 衣服の調節は、子ども達が自分で気づけるような言葉をかけていく。
- もちつきは、衛生面に十分に配慮する。
- イベントの準備などで部屋の移動が多くなるので、子ども達の気持ちの高ぶりや散漫からぶつかりなどの事故が起こらないよう配慮する。
- 朝の体操を取り入れたり、おしくらまんじゅうなどで友達と一緒に体を温めながら、寒さからの怪我の予防に努めていく。
- 手洗いの方法や正しい座り方など、視界に入るところに掲示しておき、子ども自身で意識できるようにする。
- 友達とのトラブルから大きな事故や怪我に発展することがないように、子どもたちの姿や関係をよく観察する。
- 異年齢との交流で無理な関わりがないよう、他クラスの保育者とも情報交換や連携をしておく。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- さんかくツリー／クリスマスつるし飾り／紙皿サンタ・トナカイさん

歌

- サンタがまちにやってくる／こいするニワトリ／ふゆのよるのおはなし

絵本

- くるみわりにんぎょう／クリスマスってなあに／やさいのおにたいじ

手遊び

- 大きくなったら何になる／おにのパンツ／せんせいとおともだち

室内室外遊び

- 「新聞紙の足場」レース／もうじゅうがり／まつぼっくりパチンコ

行事

- 世界人権デー（12/10）
- 正月事始め（12/13）
- 冬至（12/22頃）
- クリスマス（12/25）
- 大晦日（12/31）

食育

- 年越しそば、おせち等の年末年始の食事の由来を絵本や紙芝居などで広める。
- 食事のマナーとみんなで食べる楽しさについて繋げて伝えていく。
- もちつきでは売っている餅がどうやって出来るかを体感し、自分達でついた餅の美味しさを知る。
- 箸の持ち方や使い方、ルールについて確認する場を設け、いつでも見られるよう保育室内に掲示しておく。
- クリスマスのクッキングを行い、食事の観点からも行事を楽しむ。
- ひとりひとりの椅子に座る姿勢を見つめ、正しい姿勢が身につくよう伝えていく。

地域と家庭との連携

- 掲示板や園だよりなどを通してクリスマス会についてお知らせし、準備するものの協力をお願いする。
- 感染症の流行状況や予防策について知らせ、体調管理に気をつけるよう呼びかける。
- 室内遊びの際には体温も上がりやすいため、厚着しすぎないように調節をお願いする。
- 就学に向け、ティッシュやハンカチをポケットに入れてくるようお願いをする。
- できるようになったこと、今頑張っていることを伝え、休み中に家庭でも取り組むことでモチベーションを保てるようにする。
- 餅つき大会など、地域の方々と一緒に季節ならではの行事を楽しむ機会を設ける。

自己評価

- 子ども一人ひとりが興味をもって遊びに集中できるような環境を用意できたか。
- 友達との関わりの中で見守るところと、援助するところの見極めが適切であったか。

- 子ども自身が考え、成長できるきっかけになる言葉かけや話ができていたか。
- 子どもたちと一緒に物事を決めたり、話し合ったりする機会を作れたか。
- ひとりひとりの姿を見つめ、発達や興味などを把握することができたか。
- 就学を見据えた活動を、無理のない範囲で取り入れられたか。